

2019年6月20日

横浜ゴム、掛川市の海岸防災林事業に苗木提供 「希望の森づくり 植樹祭」に参加

横浜ゴム（株）は、掛川市の海岸防災林強化事業「掛川モデル」の一環として、5月25日に同市の大洲地内で開催された「市民協働による希望の森づくり 潮騒の杜植樹祭」に、平塚市の社会福祉法人進和学園を通して苗木360本を提供しました。植樹祭には地元自治体や掛川市民をはじめ、横浜ゴム従業員とその家族55名を含む企業・団体などから約700名が参加し、3,000本の苗木を植樹しました。

「掛川モデル」は南海トラフ巨大地震で予想される太平洋沿岸地域での津波被害を低減させるため、宮脇昭氏（横浜国立大学名誉教授）が提唱する森の防潮堤を海岸線およそ10キロメートルに約20年かけて築く事を目指し、2015年にスタートしました。横浜ゴムは、掛川市の「希望の森づくり」の企業パートナーとして2015年より毎年ボランティアへの参加と苗木提供を行っており、これまでに累計2,495本の苗木を提供しています。

進和学園は、知的障がいのある方々の生きがいの追求と自立支援を目的として、どんぐりや木の实から苗木を育て植樹を行う「いのちの森づくり」プロジェクトを実施しています。横浜ゴムは、同学園と2010年に「苗木の提供に関する覚書」を締結しています。

横浜ゴムは、2018年2月に策定した中期経営計画「グランドデザイン2020（GD2020）」において各事業の成長戦略を通じた経営基盤の強化を掲げています。CSRでは「未来への思いやり」をコンセプトに「地球環境」「地域社会」「お客様」など6つのステークホルダーごとに事業活動を通じた価値創造を推進しています。



当日の植樹の様子



植樹祭に参加した横浜ゴムの従業員や家族

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570